

これまでプラン等に基づいて実施してきた取組は、近年のオリ・パラ大会での日本選手団の輝かしい結果に一定の役割を果たしてきた。

リオ
2016

平昌
2018

東京
2021

北京
2022

パリ
2024

ミラノ
2026

愛知・名古屋
アジア・
アジアパラ

ロス
2028

フランス
アルプス
2030

ブリスベン
2032

ユタ
2034

2016.10
「競技力強化のための
今後の支援方針」策定

2021.12
「持続可能な国際競技力
向上プラン」策定

2025.3
「持続可能な国際競技力
向上プラン」改定

アスリート・センタードの視点から、これまでの取組・これからの取組を再整理

スポーツ庁・JSC・JOC・JPSA・JSPOの役割分担と連携を通じ、より効果的・効率的な協働を実現

一体的な取組によりアスリートを支援組織間・活動拠点間でシームレスにサポート

地域との連携

地域のコンソーシアムとHPSCとの連携による医・科学支援機能の向上(3.(1))

NTC競技別強化拠点の機能強化(3.(2))

部活動改革を好機としたNFと地域との一体的な取組(1.(1))

選手強化活動の基盤の確立、医・科学等サポートの充実

【強化拠点】(場所で支える)

- # パラ競技の育成・強化の場の創出に向けた検討(1.(1))
- # HPSCにおける医・科学研究やアスリート支援の充実(2.(1))
- # JISSの機能強化(2.(1))

【指導者等】(人で支える)

- # コーチ等指導者やサポートスタッフの育成・充実(1.(2))
- # 大学や企業とHPSCとの連携(2.(1))
- # トータルコンディショニングの確立と実践(2.(1))

【国際競技大会】(大会で支える)

- # オリ・パラ競技会場・選手村・村外拠点の協働による「トライアングルサポート」(2.(1))

アスリートを守る

女性アスリートが健康に競技を継続できる環境の整備(4.(1))

誹謗中傷等から守ること等を通じたアスリートのウェルビーイング向上(4.(2))

NFのガバナンス確保・組織基盤強化(4.(3))

アンチ・ドーピング(1.(2), 4.(3))

根底にある考え方

身体機能・コンディショニングに関するリテラシーの向上

強化活動を通じた人類の潜在的身体能力の開拓

競技やオリ・パラの枠組みを超えた連携、強化活動(「クロストレーニング」等)

国際情報の収集・活用(2.(2))

- # NFの情報収集強化・ルールメイク等に関与できる体制の構築
- # JPCクラス分け情報・研究拠点の活用

テクノロジーの活用(2.(3))

- # データサイエンティスト・データエンジニア等との連携によるAI等テクノロジーの活用に向けた研究等の実施

スポーツ庁における大学スポーツと国際競技力向上の関連する取組

競技力向上事業（令和7年度予算額：10,391,360千円の内数）

ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークを通じた医・科学、情報サポートの展開

HPSCに蓄積されたスポーツ医・科学、情報支援の知見を全国に届けるために、支援内容のパッケージ化とパッケージ活用人材（サポートスペシャリスト）の指定及び全国展開、HPSCネットワーク連携機関の認定を実施する。

【提供されているパッケージ内容】



実施機関：日本スポーツ振興センター

ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）

【HPSCネットワーク連携機関】（一部抜粋）

北翔大学、国際武道大学、帝京大学スポーツ医科学センター、山梨学院大学スポーツ科学部、新潟医療福祉大学、びわこ成蹊スポーツ大学、立命館大学スポーツ健康科学部、大阪体育大学、和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所、筑波大学体育系

地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業（令和7年度予算額：82,640千円）

「誰もがアクセスできる」スポーツと持続可能な国際競技力向上の実現に向けて、居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学のサポートを受けられる環境を整備していくため、大学や地域のスポーツ医・科学センター等の関係機関が連携・協働し、地域のアスリート等にスポーツ医・科学支援を提供する体制のモデル構築を目指す。

委託先：北海道スポーツ協会

新潟医療福祉大学

京都府

和歌山県立医科大学

宮崎大学

先端的スポーツ医・科学研究推進事業（令和7年度予算額：135,324千円）

「医学分野」、「情報分野」、「工学分野」等において、スポーツに関する先端的な研究ならびに次世代の中核を担う若手研究者の育成を継続的に実施する機関を「先端的スポーツ医・科学研究拠点」として指定し、HPSCと連携してスポーツ医・科学研究を推進する体制を整える。

委託先：筑波大学

順天堂大学

立命館大学

■ 大学スポーツにおける競技力向上の方向性はどうあるべきか

- 各大学において、大学生のスポーツ活動を支える機能や組織をどのように充実していくべきか
- HPSCの有する医・科学的な知見やノウハウを各大学のスポーツ活動の現場で活用しやすくするための方策について
- 大学スポーツの国際・国内競技大会の在り方について